



新潟ふれ愛プラザ 〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1 (JR亀田駅東口より5分)

## 東京2020パラリンピック、センター職員躍進!



8/24～9/5に行われた東京2020パラリンピック競技大会に、交流センター指導員の永田務（上肢障害T46）がマラソン種目に出場、また、水泳背泳ぎに出場した山田美幸選手（上下肢障害S2、当時14歳）を長年指導する岡野高志主任指導員が専属コーチとしてチームに帯同し山田選手をサポートしました。

大会2日目、山田選手が100m背泳ぎで日本勢第1号となる銀メダルを獲得し、さらに史上最年少メダリストの称号を手にする、続く50m背泳ぎでも2個目の銀メダルを獲得する偉業を達成。大会最終日のマラソンに出場した永田選手は、雨が降りしきる難しいレースを2時間29分33秒のタイムで3位争いの激闘を制し見事銅メダルを獲得、法人所縁の選手が最初と最後のメダルを演出し、私たちに大きな感動を与えてくれました。

新型コロナの影響により開催が1年延期され、代表選考からメダル獲得までの道のりは決して平坦なものではありませんでしたが、この経験を今後多くの人に伝え、パラスポーツの更なる普及と発展に繋げてほしいと思います。皆様のご支援とご声援誠にありがとうございました。



### <永田選手特設表彰コーナー>

新潟ふれ愛プラザでは、永田選手の銅メダルをはじめ表彰記念品を展示しています。

新潟県民栄誉賞、村上市民栄誉賞、新潟市スポーツ大賞、新潟日報スポーツ特別栄誉賞、JPCパラリンピック特別賞（ほか（順不同））



目次  
index

障害者交流センターふれ愛だより	p2
聴覚障害者情報センターだより	p3
県身連だより(公益自主事業)	p4~5
社会参加推進センターだより	p6~7

発行  
(福)新潟県身体障害者団体連合会  
理事長 立川 厚太郎

電話 025-381-1474  
FAX 025-381-1478  
E-mail:kenshinren@n-fureaiplaza.com  
http://kenshinren.n-fureaiplaza.com

印刷 ㈱新潟印刷

# 新潟県障害者交流センター ふれ愛だより

TEL 025-381-8110 FAX 025-381-1478 URL <http://kouryu.n-fureaiplaza.com/> MAIL [kouryu@n-fureaiplaza.com](mailto:kouryu@n-fureaiplaza.com)

## こうなんふれ愛まつり開催

秋晴れの10/10(日)、『こうなんふれ愛まつり』が開催されました。毎年春の開催でしたが、今年はコロナの状況を考慮しフリマやステージイベントは中止するなど内容を変更、江南区や地元商工会、はるみどり協議会等との共催で約500人のご来場をいただきました。

久しぶりにコロナから戻りつつある笑顔と活気を感じられた一日となりました。



開始から行列の健康コーナー



施設の販売コーナー

## 全国障がい者スポーツセンター協議会、リモートで開催

11/29、全国障がい者スポーツセンター協議会を開催しました。今年度は当センターが開催当番施設で、全国から新潟にお集まりいただくところでしたが、新型コロナウイルスの影響によりリモート形式で実施、前半は岡野職員と永田職員の基調講演を行い、後半はコロナ対応の状況や東京パラリンピック後の変化、今後の施設のあり方などについてZOOMにより意見交換を行いました。

依然として多くの施設で個人利用における予約制度や人数制限を設けており、通常開館のタイミングを模索しているとのこと。また、事業についてもご利用者の体力低下を懸念し、運動強度を抑えたプログラムの設定や感染リスクを抑えた開催方法等について有意義な情報交換ができました。

3月頃には来年度事業についてご案内をさせていただきます。どの教室も皆様の体力や運動機能の状態に応じた教室を予定しております。今後も皆様にとって安心・安全にご利用いただけますよう努めていきたいと思っておりますので、ご意見などがありましたらお気軽にセンター職員へお声がけください。



## クリーン作戦ご協力ありがとうございました

11/14(日)と11/28(日)の2日間、プラザクリーン作戦を実施しました。

初回は水泳クラブWSNや施設利用者の皆様より、2回目は江南区ライオンズクラブの皆様のご協力により、30袋

以上もの落ち葉を集めていただきました。コロナ禍で大変な中皆様の心暖まるご支援誠にありがとうございました。



## 冬休み子ども水泳教室開催

冬休み期間中に集中的に水泳を学ぶことを目的とした「子ども水泳教室」を1/4から4日間連続で開催しました。3歳～13歳の障害児9名が参加し、バタ足やビート板キックなど楽しそうに水に親しんでいました。東京パラ銀メダリストの山田美幸さんもこの教室からスタートしました。みなさんのこれからの成長を見守りたいと思います。



## ご寄贈 ありがとうございました

プール用車いす1台

(一社生命保険協会新潟県協会様)

お菓子詰め合わせ30個

(モスバーガー亀田店様)

永田務懸垂幕

(村上市様)



## お願い

プラザ敷地から出る車輛のうち、歩道の前で一時停止しない車輛があり歩行者が危険との通報が近隣住民より寄せられています。今一度、お帰りの際は出口で「一時停止」のうえ歩行者の安全確認をお願いします。

# 新潟県聴覚障害者情報センター 情報センターだより

TEL 025-381-8112 FAX 025-381-8116 URL <http://jyoho.n-fureaiplaza.com/> MAIL [jyoho@n-fureaiplaza.com](mailto:jyoho@n-fureaiplaza.com)

## きこえの相談

2月2日(水)・3月2日(水)  
聴覚障害者情報センター相談室  
13時30分～15時

## 巡回映像ライブラリー

新潟聾学校 1月18日(火)  
長岡聾学校  
1月19日(水)・2月16日(水)

## 小千谷市「手話を学ぼう 楽しく話そう」のご案内

- 【共催】小千谷市、新潟県手話サークル連絡協議会、  
小千谷手話サークル、小千谷手話サークルあじさい会
- 【日時】①2月27日(日) ②3月6日(日) 10:30～12:00  
※1回目と2回目は違う内容です
- 【会場】サンラックおぢや 3階大ホール
- 【対象】手話に興味のある方、手話でコミュニケーションをとってみたい方  
小～高校生のご参加もお待ちしています(親子での参加も可能)  
※小千谷市在住の方のみ参加できます
- 【定員】30名(先着順) 【参加費】無料 【締切】2月20日(日)



## 令和3年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会のご報告

令和3年11月10日(水)に標記研修会が配信拠点を新潟として開催されました。昨年度はコロナの影響で延期となりましたが、今年度はオンライン開催となりました。例年、2泊3日の日程で全国から映像制作の担当者が集まり、使用機材や編集技術、撮影技術の意見交換などを行う研修会ですが、今回はオンライン形態の配信方法などについても学ぶことができました。

私からは、「新潟の取組みと今後のソフト担当について」をテーマにお話をさせていただきましたが、今までの仕事内容から大きく変わって行かなければならないとして意見を述べさせていただきました。

CM字幕もキー局や大手広告代理店だけではなく、地方にも広がっていけば、聞こえない・聞こえにくい人も、もっとTVを楽しめると思います。(坂井)



## 電話リレーサービスが開始しました



電話リレーサービスとは、聴覚や発話に困難のある人(以下、きこえない人)と、きこえる人(聴覚障害者等以外の人)との会話を通訳オペレータが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより電話で即時双方向につながるができるサービスです。24時間365日、双方向での利用、緊急通報機関への連絡も可能となります。令和3年7月1日よりサービスが開始されました。

# 県身連だより (公益自主事業)

TEL 025-381-1474 FAX 025-381-1478 URL <http://kenshinren.n-fureaiplaza.com/> MAIL [kenshinren@n-fureaiplaza.com](mailto:kenshinren@n-fureaiplaza.com)

コロナ禍での新しい生活様式における障害特性に関連した困りごと・配慮してほしいこと

## ●●●●意見集約結果●●●●

今年度、県身連ではコロナ禍での障害者の生活実態を把握し、新しい生活様式における障害特性に関連した困りごと等について当事者の方からの意見を取りまとめ、地域社会に向けて障害に対する理解を促進するための取り組みを行っています。

今回、県身連では令和3年7月から機関誌やホームページ等で、身体障害のある当事者の皆さまからのご意見を募りました。寄せられたご意見等は以下のとおりです。



### 【コロナ禍における生活の困りごと・配慮してほしいこと】



#### 肢体不自由 50代 男性

- 巣ごもり生活が長いため、会話が下手になった。
- 頭の回転がしにくくなった。

#### 肢体不自由 80代 女性

- 友達とも会えなくさみしいです。  
早く会える日が来ますよう待って居ます。

#### 肢体不自由 80代 男性

- マスクをしたまま話すと声がこもり聞きにくい。  
話すときはマスクを外して話すようにしてほしい。

#### 肢体不自由 80代 男性

- 特に不自由はありませんが、難聴がむしろ不自由です。

#### 視覚障害 70代 男性

- 障害者もいろんな障害特性がありますので、目の見えにくい私にとって情報が事実裏付けされたものなのか、その判断に苦慮しております。  
視覚障害者同士が常に悩みや心配事などをやりとり出来るつながりをぜひ作ってください。  
創意と工夫をして毎日を一生懸命生きている障害者の声を大切にしてください。

#### 視覚障害 70代 男性

- マスクが息苦しくて困る。
- 感染対策のため、コーラスやカラオケができなくなってしまった。  
目が見えないので、視覚障害の仲間と歌声での交流を楽しみにしていたのに…軒並み中止に。自分達で考え、フェイスシールドを着用して活動していた時期もあったが完全ではないとの見解で、活動休止になってしまった。これまで楽しみにしていたことが

できない辛さと仲間との交流の持ち方の難しさを感じている。

#### 視覚障害 80代 女性

- 集まりがなくて残念でした。



#### 視覚障害 50代 女性

- 入り口で手指消毒をしなくてはいけない。建物に入った時に、消毒の場所が分からない。すぐ手を洗うが、他の人からみれば、あの人は消毒もしないし、検温もしない。どうなんだろうと思われ不安がある。手をかざすとすぐ消毒液が出るものは、視覚障害者にとってはどこに出るのが分からない。視覚障害者にとっては、消毒は必要だけでも探せない、でも消毒をしないと人の目も怖いと感じる。ソーシャルディスタンスは自ら取れないので、聞かなきゃいけないし、そういった特性を分かっていただけのような周知が必要だと思う。

#### 視覚障害 70代 男性

- コロナ終息。マスク生活わずらわしい。

#### 聴覚障害 50代 男性

- マスクをしていると口の動きや表情が読み取れないのに、なかなかマスクを外してくれない。
- マスクを外せないなら、筆談してほしいが、それもなかなか書いてくれない。

#### 内部障害 60代 女性

- マスクでの会話が聞き取りづらい。  
(発音がわかりづらい)

#### 内部障害 70代 女性

- 事業ができなくなり人と会う機会が少なくなった。

## 意見集約結果から見えてきたこと・県身連として

コロナ禍で、不要不急の外出自粛等により社会参加活動の機会が減少しました。

それまでの生活の楽しみである仲間との談話やカラオケ等の対面での交流が少なくなりました。

コロナ禍における新しい生活様式ではマスク着用が当たり前となり、会話の聞き取りづらさ、コミュニケーションの取りづらさは聴覚障害のある方だけでなく、多くの方が不便に思っておられます。

特に、顕著なのが、視覚障害のある方です。検温や手指消毒の設置箇所や消毒方法は、それぞれの設置場所により異なります。

感染予防対策として人との直接接触を避け、対人距離を確保するようになった現在、障害者を取り巻く生活環境は、その生活のしづらさが浮き彫りとなりました。

平成29年2月、ユニバーサルデザイン2020 関係閣僚会議で決定された「ユニバーサルデザイン2020 行動計画」において、『心のバリアフリー』とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこととされています。

コロナ禍の今、まさにこの取り組みが必要とされています。

駅やショッピングセンター等街なかで困っている人を見かけたら、まずは声を掛ける、そして相手の手助けしてほしいこと・配慮してほしいことを理解し、行動する…一人ひとりが心掛け、当たり前に行える社会を目指していきたいと県身連は考えます。

コロナが収束しても、今はまだ、生活を完全にコロナ前の状態に戻すことは難しく、引き続き、マスク着用や手指消毒は継続されていくと思われまます。

立場が変われば見方も変わる…今回の身体障害のある当事者の方々の生の声を、是非みなさんと共有していただければ、誰もが暮らしやすく誰にでも優しい共生社会への実現に向け、また一歩近づくのではないのでしょうか。

今回、コロナ禍における障害者の生活実態把握についてのアンケートを行った際に、新しい生活様式以外での困りごとについての声もお寄せいただきました。

普段、なかなか伺うことが出来ない地域にお住まいの皆様のご貴重なご意見を、この機会に伺えたことは、県身連としてもこのアンケートが有意義なものであったのではないかと思います。

今後も、県身連は当事者団体として、一人ひとりの貴重なご意見を伺う場を大切に、地域社会への障害に対する理解促進と差別解消に関する普及啓発に取り組んでまいります。

**\*今回、貴重なご意見をお寄せいただいた皆様、大変ありがとうございました\***

## 障害者差別解消法が一部改正されました

令和3年5月、障害者差別解消法の改正法が成立しました。

この法律は平成25年6月に制定、平成28年4月1日から施行され、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しています。

この法律の二本柱として「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が求められています。

改正前は、「不当な差別的取扱いの禁止」については国・地方公共団体等及び民間事業者のすべてに法的義務として定められていましたが、「合理的配慮の提供」については、国・地方公共団体等のみ法的義務とし、民間事業者においては努力義務にとどまっていた。

今回の改正のポイントは、民間事業者においても「合理的配慮の提供」が法的義務化されたことです。国・地方公共団体等と同様に合理的配慮の提供については、障害者から意思の表明があった場合に、過重の負担にならない範囲で、障害特性等に応じて社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮をしなければならないこととなりました。

これにより事業者側へ障害や障害者に対する理解がより一層求められることとなりましたが、同時に障害当事者側にも、自分の障害やどのような配慮が必要なのか相手に理解してもらえるような話し方や建設的な話し合いに向けたコミュニケーション力が求められます。

この改正法は公布日である令和3年6月4日から起算して3年以内に施行されますが、更なる共生社会の実現に向け、一日も早く施行されることを望みます。



にいがた

# 社会参加推進センターだより

TEL・FAX 025-383-3654

URL <http://suishin.n-fureaiplaza.com/>

MAIL [suishin@n-fureaiplaza.com](mailto:suishin@n-fureaiplaza.com)

## ♪新潟県障害者芸術文化祭が開催されました♪

11月16日(火)から21日(日)、新潟ユニゾンプラザで『第19回新潟県障害者芸術文化祭』が開催され、期間中は900人を超える多くの方々からご来場いただきました。

美術展では230点の美術作品(4部門:絵画、書道、写真、工芸)が展示され、会場はバラエティーに富んだ作品の数々で埋め



尽くされました。また、文芸作品(4部門:短歌、俳句、川柳、自由詩)も115点と多くの作品が集まり、心温まる文芸作品集が出来上がりました。会場には受賞作品が展示され、全ての文芸作品を一冊にまとめた「文芸作品集」が配布されました。



最終日のステージ発表では、7の個人・団体による歌唱・楽器演奏・踊りのステージ発表が披露されました。出演者の熱い思いがホールいっぱいに響き渡る素敵なステージとなりました。ステージ発表後には、全部門各賞の受賞者へ表彰状が授与されました。

### 第19回新潟県障害者芸術文化祭 受賞者一覧

#### ●県知事賞(9名)

- 〈絵画〉愛石福祉会  
ドリームカレッジ
- 〈書道〉堅暁
- 〈写真〉小林 稜央
- 〈工芸〉手楽来家
- 〈短歌〉古俣 キヨ
- 〈俳句〉石岡 ヒロ子
- 〈川柳〉三浦 五十弥
- 〈自由詩〉長助 実歩
- 〈ステージ発表〉

#### ●審査員特別賞(11名)

- 〈絵画〉土田 学
- 〈絵画〉Ray
- 〈書道〉すきつぶ
- 〈写真〉原 悠乃
- 〈工芸〉魚沼更生園
- 〈工芸〉峯岸 イチ
- 〈短歌〉石岡 ヒロ子
- 〈俳句〉白井 正江
- 〈川柳〉渡辺 幸榮
- 〈自由詩〉富澤 元気
- 〈ステージ発表〉ながおかの星

#### ●実行委員長賞(2名)

- 〈絵画〉カレイドスクエアパーク村上
- 〈工芸〉本間

#### ●アール・ブリュット賞(3名)

- 〈絵画〉ブレ
- 〈絵画〉今井
- 〈工芸〉グループホームスカイ1

※アール・ブリュット賞は、美術作品を対象とし、正規の美術教育等にとらわれず、独自の発想と方法により作成した感性豊かな作品に贈られます。



新潟県のホームページから受賞作品をご覧ください

第19回新潟県障害者芸術文化祭

検索

## 県知事賞受賞作品

### 文芸部門

〈短歌〉古侯 キヨ

信州の 桃久々に 届くなり  
父母兄の 淡い思い出

〈俳句〉石岡 ヒロ子

そろわない 金管響く 雲の峰

〈川柳〉三浦 五十弥

まだ当てに されてしつかり  
飯を食う

〈自由詩〉長助 実歩

「梅雨のかおり」

山の空から 見上げる雲に  
梅雨のかおり アジサイのように

海から見渡す 見上げる雲に  
梅雨のかおり アジサイのように

山から見降す 海の青さから  
見上げる雲に 太陽キラリ こんにちは

海から見渡す 山の碧さから  
見上げる雲に 七色かけはし ニッコリ  
笑顔

今日も過ごせた日常に 焦らずコツコツ  
辛抱強く  
梅雨のかおり アジサイのように

ゆっくり、ゆっくり わたしの色  
探しながら  
いつか見つかるの良いな  
わたしのアジサイ  
梅雨のかおり アジサイのように  
一片一片

変わりゆく あなたの心 元気でねと願ひ、  
支えあう あなたとわたし 支え支えあう

### 〈書道〉堅暁「吾唯足知」



### 〈写真〉小林 稜央「静かな時間」

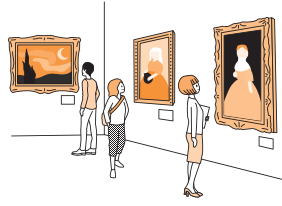


### 美術部門



〈絵画〉愛宕福祉会 ドリームカレッジ  
「打ち上げ花火～未来にとどけ！みんなの願い～」

### ステージ部門



〈ダンス〉スペシャルオリンピックス日本・新潟  
ダンスチームH&D



〈工芸〉手楽来家  
「みんなの“手”作りX'mas」

## 障害福祉サービス事業所の紹介

障害者芸術文化祭の受賞者には、毎年、県内の障害福祉サービス事業所や施設で作られている製品を記念品として贈呈しています。

今年度は、『就労継続支援B型事業所 スペース Be 新大前』の「あずま袋（記念たて付き）」が贈られました。今回は、記念品を作っていただいた『就労継続支援B型事業所 スペース Be 新大前』をご紹介します。

### 『就労継続支援B型事業所 スペース Be 新大前』

スペース Be 新大前は新潟市西区にある就労継続支援B型の事業所です。

障がいがある人もない人も共に働き、共に活動する。そして地域の中で暮らす力を身に着けることを目指しています。活動内容は、印刷、軽作業、クラフトの3つをメインに取り組んでいます。施設内にあるクラフト運営の『ちいさな雑貨店みつばち』では、地域のハンドメイド作家さんの雑貨も取り揃え、皆様のご来店をお待ちしています。



『モノづくり：ミシン作業』



『雑貨店みつばち』



mitsubachi



『作業風景』

皆さまのお越しをお待ちしております

Instagram 情報 UP!



MITSU.BACHI2020

# 新潟県障害者スポーツ協会だより

TEL 025-383-3610 FAX 025-381-1478 URL <http://sports.n-fureaiplaza.com/> MAIL [sports@n-fureaiplaza.com](mailto:sports@n-fureaiplaza.com)

## 各種大会を開催いたしました！

まだまだ新型コロナウイルスが収まらない中ではありますが、様々な制限をさせていただいた中、選手や審判員等のスタッフ、家族や施設職員等の選手関係者、参加いただいた全ての方のご協力のもと、11/27にふれ愛卓球大会、12/4にふれ愛ボッチャ大会、12/17にふれ愛フライングディスク大会、そして、12/5には新潟県障害者スポーツ大会（団体競技）バスケットボール競技を、無事開催することができました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました！



11/27 ふれ愛卓球大会



12/4 ふれ愛ボッチャ大会



12/17 ふれ愛  
フライングディスク大会



12/5 新潟県障害者スポーツ大会  
（団体競技）バスケットボール競技

## ジャパン・ライジング・スター・プロジェクトが開催されました！

ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（以下、J-STAR）の第2ステージが全国8か所で開催されました。11/23日（火・祝）には新潟ふれ愛プラザを会場に、第1ステージの書類審査等を通過した12名の選手が、基礎測定や専門測定を行いました。

この事業は、パラリンピックを目指すトップアスリートを発掘する国家プロジェクトです。J-STAR終了後の有望選手は、各中央競技団体の強化・育成コースに選出され、世界で活躍できるトップアスリートを目指すために引き続きトレーニングを重ねていく機会が得られます。

当日の測定会では、障がい者スポーツ指導員の皆様、新潟県理学療法士会の皆様、新潟医療福祉大学義肢装具自立支援学科の皆様が測定補助員として活躍してくださいました。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました！

